

提出日: 2023 年 4 月 21 日(金)

「★英語で楽しむ!研究発表★」の活動報告書

報告者: 沖田 ひかり・稲葉 大晃

【企画者】

- ・沖田 ひかり (工学研究科 生命分子工学専攻 博士後期課程 2 年/GTR)
- ・稲葉 大晃 (理学研究科 理学専攻 博士後期課程 2 年/GTR)
- ・Nguyen Quoc Viet (理学研究科 理学専攻 博士前期課程 2 年/GTR)
- ・佐藤 史経 (工学研究科 生命分子工学専攻 博士後期課程 3 年/フェローシップ)

【企画の概要】

国際学会での英語のポスター発表に向けて、外部講師である株式会社イー・グローブの代表取締役社長 島村東世子先生をお呼びし、英語発表における極意をご指導していただいた後、ポスター発表の実践練習を行った。発表だけでなく、質疑応答にも目を向けて聴講者の参加も募り、英語での質疑応答の練習も実施した。また、GTR の先生方の国際学会における経験談を事前に調査し、まとめたものをイベント当日にトラブルシューティング集として共有することで国際学会での様々な問題に対する解決策を学んだ。

【開催の背景と目的】

国際学会をはじめとして研究生活において英語が必須となる場面が多い一方で、普段英語を話す機会は極めて少ない。そのため、多くの学生が英語で研究発表を行う際に思うように伝えることができず、悔しい思いをしている。そこで、本企画では“英語を使用しない普段の研究生活”と“国際学会等での発表”におけるギャップを埋めるべく、“英語を用いたポスター発表練習の場”を設けることにした。また、その際に本企画では楽しんで英語プレゼンテーションスキルを向上させることを目指した。

【開催内容】

本イベントは午前と午後の部に分けて実施し、午前中に島村先生による講義を、午後にポスター発表の実践練習を行った。

開催日時: 2023 年 3 月 16 日(木) 10:30-16:30

開催場所: 理学部 B 館 2 階 化学科第 2 講義室

外部講師: 島村 東世子 先生 (株式会社イー・グローブ 代表取締役社長)

プログラム:

午前の部: 英語発表に関する講義

- 10:30-10:40 開会式
- 10:40-12:00 島村先生による講義

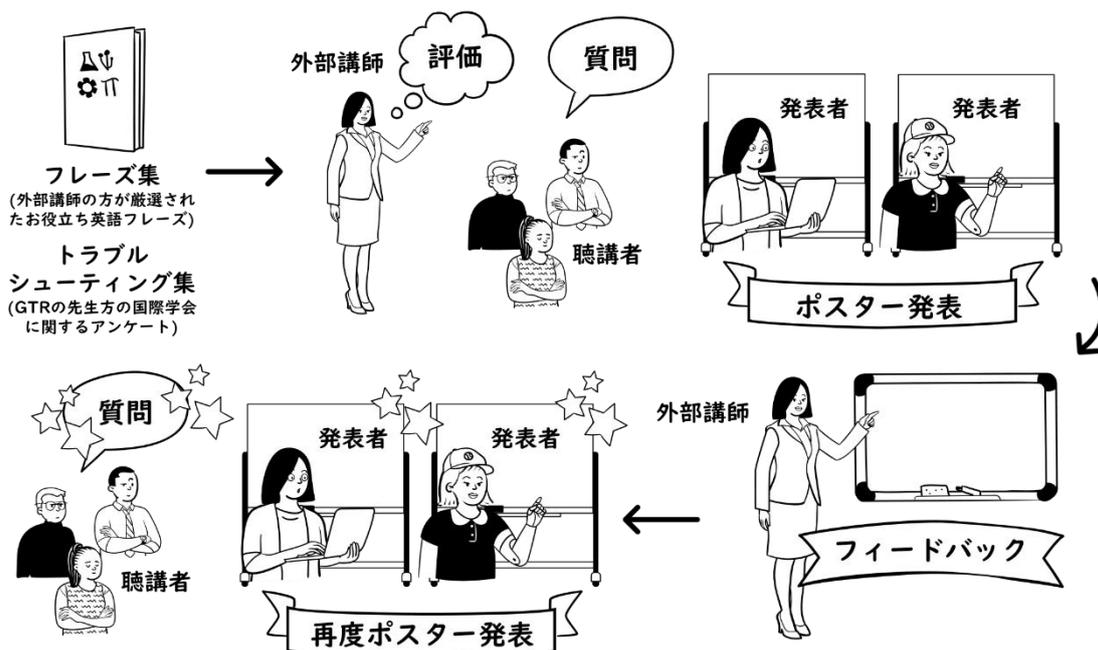
12:00-13:00 お昼休憩・ポスター貼り付け

午後の部: ポスター発表の実践演習・島村先生からのフィードバック

- 13:00-13:45 ポスター発表(4人)* *順番に関しては当日くじで決めた。
- 13:45-13:55 休憩
- 13:55-14:30 ポスター発表(3人)*
- 14:30-14:50 全体へのフィードバック
- 14:50-15:00 休憩
- 15:00-15:35 2グループに分かれて再度ポスター発表
- 15:35-15:45 **トラブルシューティング集***に対する島村先生からのコメント
*事前アンケート調査にて GTR の先生方の国際学会の体験談をまとめたもの。
本企画終了後、アンケート結果は GTR 生全体に還元する。
- 15:45-15:55 島村先生とのフリートーク(国際学会に関する質問等)
- 15:55-16:00 閉会式
- 16:00-16:30 懇親会兼質問タイム・ポスター片付け

参加人数: 11 人 (発表者 7 人・聴講者 4 人)

本イベントの企画概要図:



ポスター:

2023 GTR院生企画セミナー

GTR
Nagoya University

3/16

★英語で楽しめ！研究発表★
Let's Enjoy Research Talk in English!

日時：2023年3月16日（木）
午前の部（講義）10：30～12：00
午後の部（実践）13：00～16：30

講師：島村東世子  

(株式会社イー・グローブ代表取締役社長)

会場：化学科第2講義室（理学部B館2階）

言語：講義（日本語） 実践（英語）

定員：発表者10名、聴講者10名（計20名“先着順”）

企画：沖田ひかり、稲葉大晃、Nguyen Quoc Viet, 佐藤史経
連絡先：gtr.english.talk@gmail.com

Register Now!!!

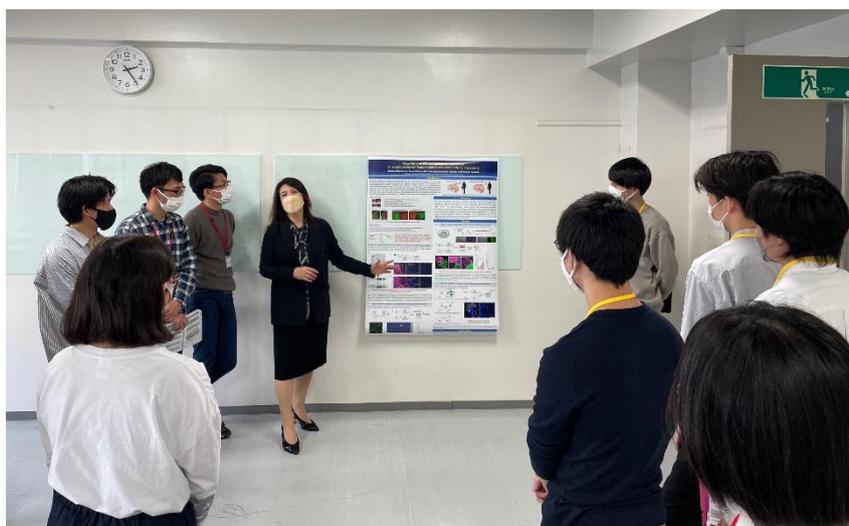


【企画当日の写真】

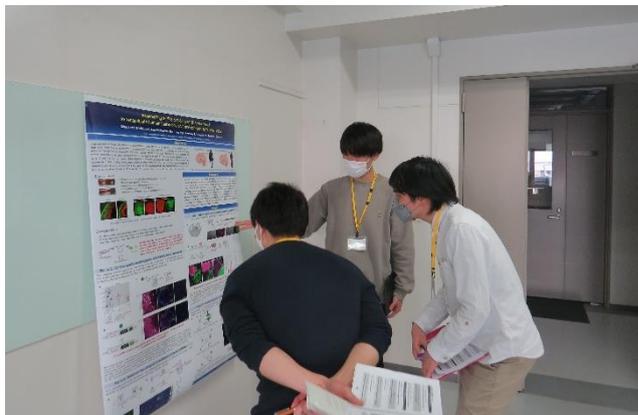
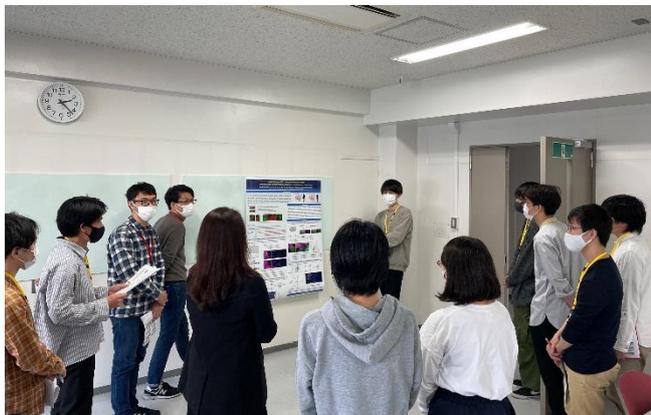
島村先生による講義の際に撮影した写真。



ポスター発表演習において島村先生(写真中央)からのフィードバック時に撮影した写真。



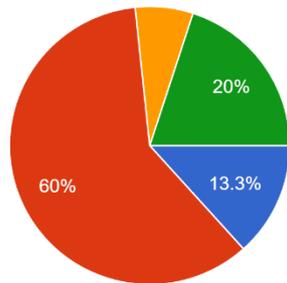
フィードバックを受けて学生間で再度ポスター発表の練習をしている際に撮影した写真。



【参加者について】 15人(企画メンバーを含む)

所属

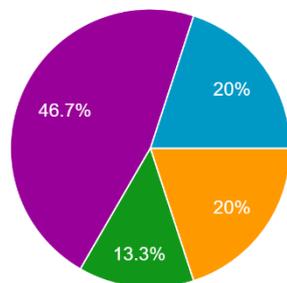
15件の回答



- 工学部/工学研究科
- 理学部/理学研究科
- 農学部/農学研究科
- 創薬科学研究科
- 医学部/医学研究科
- 情報学部/情報学研究科

学生区分または役職

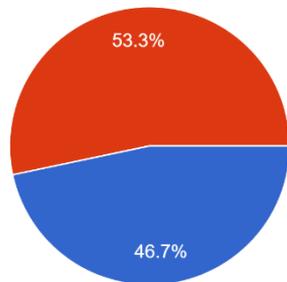
15件の回答



- 学部生(B3以下)
- 学部生(B4)
- 修士(M1)
- 修士(M2)
- 博士(D1)
- 博士(D2)
- 博士(D3)
- ポスドク
- 教員

参加形式

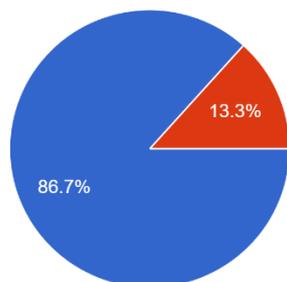
15件の回答



- ポスター発表者
- 聴講のみ

GTR(卓越大学院)への所属

15件の回答



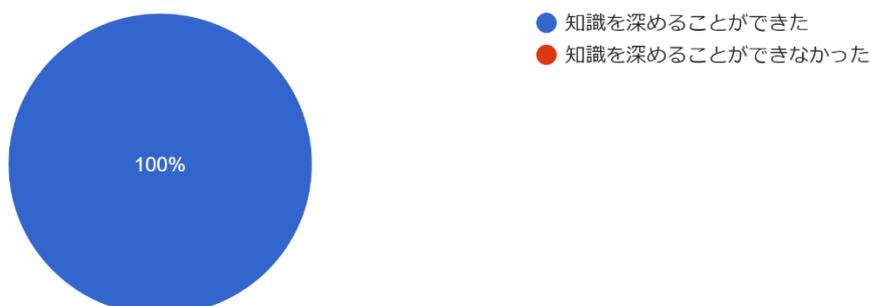
- GTR生
- GTR生以外(教員など)

修士課程の学生の参加も多く、また GTR に所属していない学生も参加していることが分かった。

【講義後のアンケート結果】

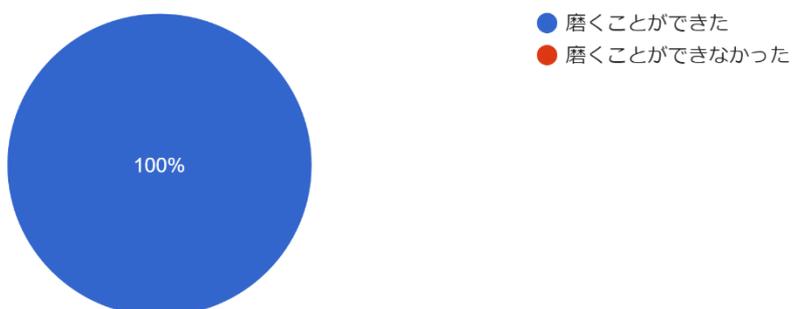
◆午前の部（講義）を聞くことで、英語での発表に関する知識を深めることができましたか。

15件の回答



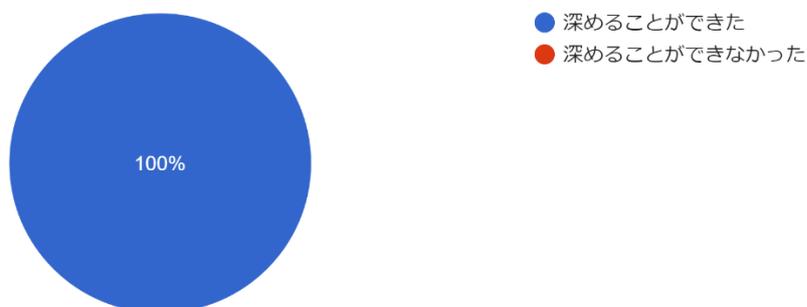
◆ポスター発表者の方への質問 午後の部（実践）に参加することで、自分の元の発表を磨くことができましたか。

9件の回答



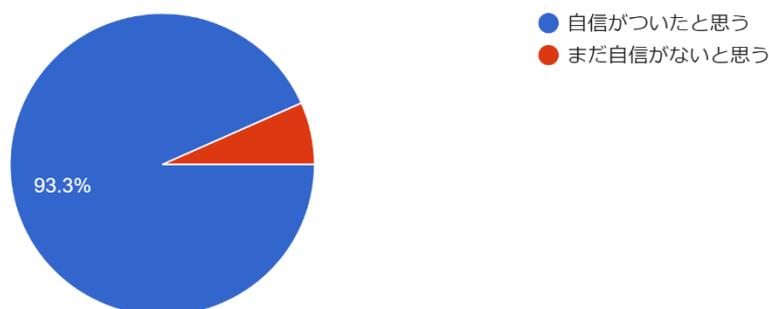
◆聴講者の方への質問 午後の部（実践）に参加することで、英語でのポスター発表への関心を深めることができましたか。

9件の回答



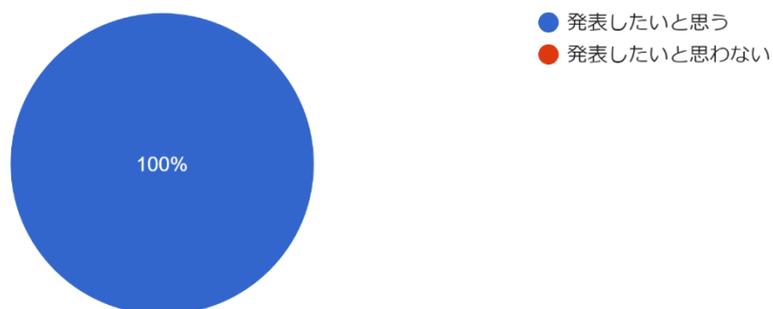
◆本企画を通じて、以前より少しでも英語で発表する自信がついたと思いますか。

15件の回答



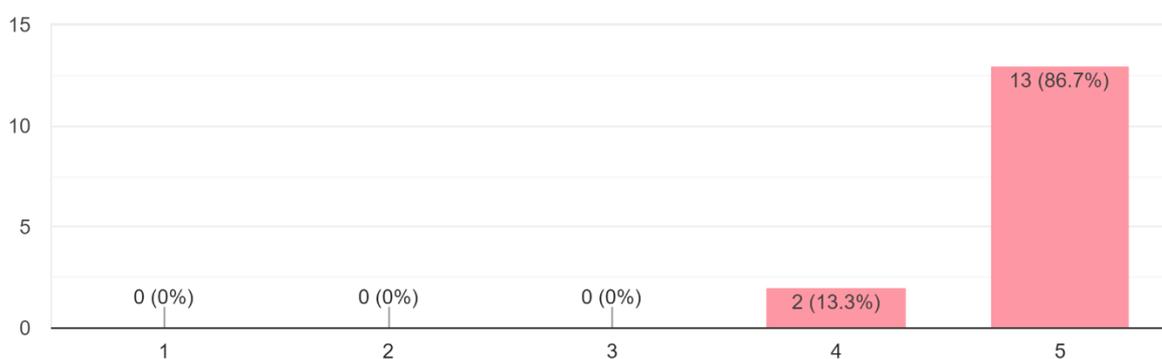
◆今後、もし機会があったら、国際学会で発表したいと思いますか。

15件の回答



◆本企画の満足度はいかがでしょうか。*1が“不満足”、5が“満足”を意味する。

15件の回答



◆本企画の感想

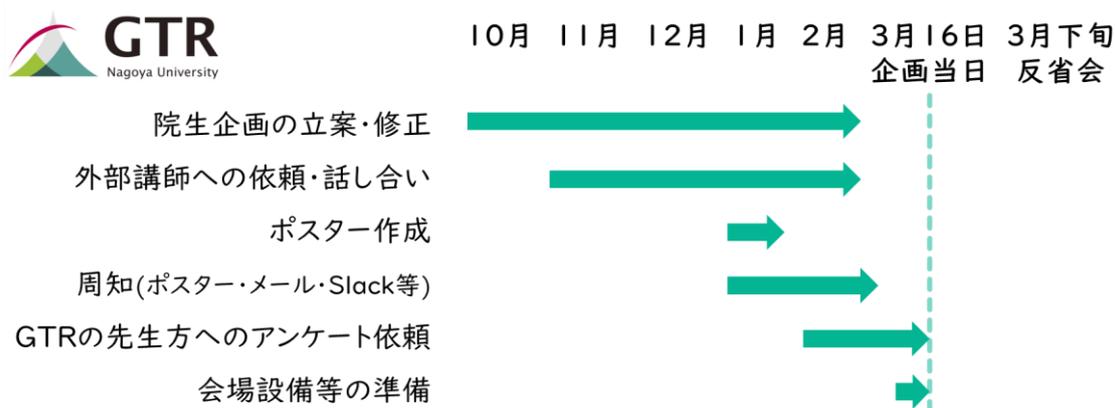
- ・文化から振る舞いを説明してくれたので分かりやすかった。
- ・企画ありがとうございました。講義と実践と、それ以外も充実したプログラムでした。
- ・とても為になる面白い企画でした。ありがとうございました!!

- ・島村先生の講演内容では予想していたよりも遥かに学生に親身になって英語発表(発表)における極意を教えていただけて非常に嬉しく思います。ポスター発表では具体的なその場の雰囲気想定して練習しようと思ったことがなかったのですが、想定練習をしてみて、このような練習方法は絶対に必要だと感じました。やはり練習で出来ないことは本番ではできないのだと強く感じました。読み方も含めて練習が大事だとわかって良かったです。また、フレーズ集も多く教えていただけて嬉しいです。先生との関係性に合わせたアドバイスでしたので、本当にためになることが多かったです!島村先生ありがとうございました!また、何か機会がありましたら是非とも講演会をお聞きしたいと思います。
- ・親身になって指導してもらえたことや実際のポスター発表の場面を意識して練習できたことがよかったです。また、GTR の先生方へのアンケート結果について島村先生からコメントをいただく時間が面白かったです。先生方の国際学会でのエピソード自体が面白いことに加え、島村先生からの視点でどう感じるかを聞くことができてよかったですと思います。機会があれば今度は聴講者ではなくて発表者としてアドバイスをいただきたいと思いました。
- ・国内の学会においてポスター発表を行っていたときは、比較的優しい人が多いために、最後まで説明を聞いてくださった方がほとんどだったと考えるきっかけになりました。しかし、国際学会では、様々な人をひきつける技術を駆使しつつ、丁寧且つ分かりやすい英語によって説明しないと聞いてくれない可能性があることが分かり、今後行く学会においても、聴衆を優先した発表を心掛ける必要があると感じました。今回学んだことを十二分に活用し、充実した学会経験ができるよう準備を行っていきたいと感じました。
- ・プレゼンテーションのはじめのタイトルスライドで話すことから、これまで自分が行っていたことと異なっており勉強になりました。これまでは、タイトルをただ読んだり、無視してイントロから初めたりしていましたし、多くの学会会場での発表がそうでした。英語に限らずこうしたプレゼンテーションをしっかり習うのは大学院生にとって重要であると思いますので、ぜひ毎年の開催を望みます。

アンケート結果のまとめ

GTR に所属していない学生からの参加も得られ、本企画で行った英語発表に関わる講義の需要の高さを感じられた。また、本企画の参加者全員が英語発表に関わる知識、技術、関心を高めることができ、学生の求める講義を実現できたと考えられる。実際に 9 割近くの参加者が満足度 5 で回答している。一方で、一部学生からは未だ英語で発表する自信がないという回答が得られ、本企画のような英語発表に関わる講義が継続的に行われる必要があると考えられる。

【当日までのスケジュール】



【本企画の成果】

本院生企画は国際学会の英語ポスター発表における英語力・発表力向上に目を向けた新規の企画であったが、アンケートの結果からも明らかであるように非常に意義のある企画となった。これまでGTR講義の中で英語のみに焦点を当てたものは数多くあるが、本企画のように実際の研究発表に絡めて行う英語スピーキング練習の場は設けられたことがなく、本企画を通して英語での研究発表能力を学生が重要視していることがわかった。さらに、口頭発表ではなく、ポスター発表という、よりアクティブなコミュニケーションが必要とされる発表形式に注目したことで、質疑応答も含め活発な学生交流の場になった。また、外部講師からのフィードバックを通じた、面白く・ためになる・熱い講義であったため、学生間や研究室間だけで行う発表練習よりも、さらに“伝える”に特化した英語スピーキング能力が確実に身についたと考える。フレーズ集だけでなく、事前にアンケート調査を行ったGTRに所属されている先生方の国際学会での経験談を集めたトラブルシューティング集も用いることによって、実践の場で生きる英語のプレゼンテーション能力とともに、国際学会における様々なトラブル解決策を学ぶことができた。

最後に、今後もGTRや大学側で株式会社イー・グローブ様のような英語での研究発表のご指導に特化された外部講師をお呼びすることで、英語プレゼンテーションに関する新たな講義・企画が開催されることを期待している。

【今後の予定】

アンケート結果を通して、本企画が非常に好評であったので今後も継続的に国際学会に向けたポスター発表の練習を目的としたイベントを開催していきたいと思う。また、次も開催する場合はより下の世代も巻き込んで院生間の輪を広げたい。

【謝辞】

本企画の開催にあたり株式会社イー・グローブ様大変お世話になりました。特に代表取締役社長の島村東世子先生には企画立案時より我々学生の思いを丁寧に汲み取って頂き、企画当日まで非常に親身になってご指導して下さいました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

また本企画は、名古屋大学卓越大学院プログラム「トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム」にご支援して頂きました。別途、国際学会への理解を深めるために GTR に所属されている先生方には様々なアンケートに答えていただきました。アンケートの結果を本企画で利用することでイベントを大きく盛り上げることに成功しました。改めまして GTR に参画されていらっしゃいます先生方並びに GTR 支援室の皆様、企画者一同、心より厚く御礼申し上げます。